



ロボット・ドローン
18



代表取締役
柏谷 昌宏

浜通り復興に
に向けたメッセージ

本事業を発展させ、MELTINの活動が南相馬市の発展に貢献できるように努めて参ります。

特殊環境向けアバターロボット
(遠隔操作ロボット) 開発事業

Made in 福島テクノロジーと 福島に蓄積された技能で廃炉の未来をつくる

アバターロボットを現場適応ベース機、危険環境対応機と段階的に作業能力・環境対応能力を向上させ、そのステップに合った環境に導入していきます。最終的に廃炉作業を含めた特殊環境下で人と同等程度の手作業が可能な特殊環境対応機の社会実装を目指します。

開発背景
東日本大震災により被災した福島第一原子力発電所の廃炉作業は、作業員にとって負担が大きく、困難な作業が数多く存在しています。当社は、アバターロボットを身体・生命の危険性がある作業環境に投入することを企図しており、危険環境下で人の代替となって作業することを目指します。

実用化開発の目標

実用化時期	令和5年度(2023年度)
販売製品・サービス名	MELTANTシリーズ
成果物(最終年度)	特殊環境向け遠隔操作ロボット
創出される経済効果	南相馬市の地元企業を活用した製造拠点整備による地元企業の売上と地元雇用の拡大

開発のポイント

要素技術	人の身体の研究から生まれたロボット機構制御技術
開発のポイント	人の身体動作の再現を迫しているため、これまでのロボットと異なり、人体同様効率的かつなめらかな動作が可能

実施期間	2020~2022年
実用化開発場所	南相馬市
連携自治体	南相馬市

- 浜通り地域への経済波及効果**
- ・採択後から現時点の新規雇用人数：2名
 - ・今後の新規雇用人数：未定
 - ・金属加工、組立て、試作について地元企業2社より調達
 - ・量産化を見据えて地元企業1社と連携
 - ・事業化を見据えて地元企業2社と連携、1社と協議中

- これまでに得られた成果**
- ・令和2年度1件(出願)、令和3年度4件(出願中)
 - ・複数社とPoC・実証実験実施中、開発連携も協議中
 - ・メディア|福島民報2023年1月1日紙面|「The future is right before our eyes 未来はもう目の前に」

株式会社メルティンMMI

南相馬市原町区萱浜字巢掛場45番地245
南相馬市産業創造センターA棟工場区画1、事務所区画1
☎ 03-6427-6397 (担当：遠藤泰子)
✉ envision@meltin.jp

投資規模 5~9億円
開発人数 10~29名
販売時期 令和5年度(2023年度)
販売形態 一括販売とリース販売を検討
販売見込先 3社(発電・製造・工事分野、時期未定)
協業希望先 化学・製薬メーカーなど、実験・研究作業の遠隔化に関心のある企業・電力会社とその協力会社



廃炉

ロボット・ドローン

エネルギー・環境・リサイクル

農林水産業

医療関連

航空宇宙